

# 「森はな先生」について

森はな（1909年(明治 42年)4月16日 - 1989年(平成元年)6月14日)

兵庫県養父郡大蔵村(現・朝来市和田山町)宮田に生まれる。

1924年に大蔵小学校の高等科から兵庫県明石女子師範学校(神戸大学発達科学部の前身)に進み1928年に卒業した後、養父郡南谷小学校の教員となった。

1932年に結婚、1936年に高砂市荒井小学校へ転任となり、夫の実家である加古川市や勤務先の高砂市で暮らした。



在職中から学校劇に取り組み、「お祭りに来た兄弟」(1952年)がNHK主催の第1回近畿学校劇コンクールで最優秀賞を受賞し、翌年も「峠のお祭り」(1953年)で最優秀賞を受賞した。

小学校教員を退職後、「神戸児童文学『あす』の会」に入会し、会の同人誌である「あす」に作品を発表し始めた。そして日本児童文学者協会の会員となった。

1973年に64歳で初めての出版作品で代表作となる「じろはったん」を出し、1974年には、7回日本児童文学者協会新人賞を受賞した。「遅咲きの新人」と評価された。

1977年に加古川市の自宅で児童文学の会「森はな学校」を発足。灰谷健次郎、あまんきみこや地域の文学愛好家が参加した。

1982年に絵本「こんこんさまにさしあげそうろう」で第5回絵本につぼん大賞を受賞。1984年に第1回加古川文化賞を受賞した。1987年に第41回神戸新聞平和賞を受賞した。1989年に「赤いマントのおばあちゃん」の制作途中で亡くなった。

出身校の大蔵小学校では、1992年ごろから、代表作「じろはったん」を歌物語にして音楽祭などで披露している。今では、学校の伝統的作品となり、卒業生がみな知っている伝統音楽となっている。

【森はな氏の代表作】

- じろはったん
- ハナ先生ものがたり
- わたしシエです
- ひいちゃんとタチアオイの花
- もどってくるもどってこん
- おばあさんは落語屋さん
- めんどりコッコ
- こんこんさまにさしあげそうろう・
- キツネの花よめいしょう
- おさよつばき
- 一二(ほい)とうげ
- 私はめんどりコッコです
- お葉つきいちょう
- こはる先生だいすき
- キツネとしゅんぺいじいさん
- 土の笛